



TAKATSU NETWORK

医療法人社団 亮正会 総合高津中央病院
川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

新

高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2025年◆秋号(2025年11月発行)

Vol.90

季節の写真館 “奥多摩の紅葉”



撮影：総務課 森田勇二

総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います



新たなステージで地域に選ばれる病院へ —誇りと品格を持って—

看護部長 朝穂 美記子



今年6月より、総合高津中央病院の看護部長として着任いたしました朝穂と申します。着任以来、職員の方々の温かいお力添えと、患者様・地域の皆様のご理解に支えられ、日々充実した思いで勤務しております。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

当院は今、大きな転換期を迎えています。これまで培ってきた急性期医療の体制をさらに充実させるとともに、新たに回復期リハビリ病棟を開設し、治療から在宅復帰までを一貫して支援できる体制を整えました。患者さまが「治る」だけでなく、「再びその人らしい生活を取り戻す」「1日も早く穏やかな日常を取り戻す」ことを目標に、医師・看護師・リハビリスタッフ・地域連携室等が一体となって取り組んでおります。

また、「救急を断らない病院」として、地域の皆

様が安心して暮らせるよう、24時間体制での受け入れをさらに強化しています。体調不良時や救急時に「まずは総合高津中央病院に相談しよう」と思っただけのよう、迅速で思いやりのある対応を心がけております。

看護部としては、こうした新たな病院体制のもと、専門性の高い看護と、人に寄り添う優しさの両立を目指しています。スタッフ一人ひとりが総合高津中央病院の職員であることに誇りと品格を持ち、患者様にとって安心できる場所となるように、教育・支援体制の充実に努めてまいります。

これからも地域に信頼され、選ばれる病院をめざして、職員一同力を合わせてまいります。どうぞ、今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新任ドクター紹介

名 前

やまな ひかる
山名 輝

卒業大学

金沢大学

専門領域

整形外科

卒業年度

2017 年

自己紹介

よろしくお願いします。

川崎市高津区最大規模の 回復期リハビリテーション病棟ができました

リハビリテーション部 部長 足立雄介

リハビリテーション部の部長をしています作業療法士の足立雄介と申します。私は2025年2月に当院に入職し、リハビリテーション部の部長として入院患者さまや外来患者さまのより良いリハビリテーションができるようにリハビリテーション部の職員たちと一緒に仕事をさせて頂いています。

当院は昨年までは、どちらかというと治療をメインにする急性期機能が特徴の病院でしたが、今年の6月に回復期リハビリテーション病棟を新設するなど、病院の強みとしてリハビリテーションに力を入れています。リハビリの職員は2025年に比べて5倍以上の職員が集まり、質の高いリハビリテーションができるように日々研鑽を積んでいます。

特に大きな変化としては、今まで入院患者さまのリハビリは日曜祝日は実施していませんでしたが、365日切れ目なくリハビリテーションを実施できる体制を作ることができ、患者さまのより早い回復のサポートをさせて頂ける体制を作ることができました。これは現在入院されている患者さまや回復期リハビリテーション病棟を退院された患者さま方にも非常に喜んで頂いています。また今まではリハビリの場面で病院の外を歩くりハビリなどはほとんどできていませんでしたが、院内各部署の協力などを得て、屋外の歩行練習や患者さまの退院する予定のご自宅に伺う

家屋調査などを積極的に行えることができるようになりました。治療をすればそれだけでよいという観点ではなく、しっかりと患者さまが望む退院後の生活につなげる具体的かつ意味のあるリハビリテーションができるようになってきていると思います。またリハビリテーションの観点から院内の車椅子をリハビリテーションやケアがしやすく患者さまの負担が少ない車椅子を導入するなど、リハビリの視点を院内環境のより一層の充実に繋げている活動も実施しています。

2025年11月には一部回復期リハビリテーション病棟の工事が終了し、より快適な環境で患者さまと一緒に回復に向けたリハビリをできるようにしていきたいと考えております。リハビリテーションの世界は新しい技術や知識が日々更新されていきますので、現状維持ではなく最新の知見や機器なども取り入れていきます。患者さまにとって価値があるリハビリテーションが提供できる川崎市における総合リハビリテーションの拠点になれるようリハビリテーション部一同、一層の努力をしていきたいと考えております。患者さま、ご家族、職員などこの病院に関わる全ての方が、この病院にきて良かったと思える病院を目指していきたいと思しますので、これからも宜しくお願いいたします。

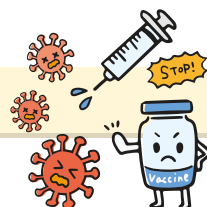




身近な病気にご用心!!

ワンポイントアドバイス

感染防止対策室



インフルエンザ

❖インフルエンザとは：インフルエンザウイルスを病原体とする感染症のことを言います。

❖感染経路：主に飛沫感染、接触感染で起こります。

①飛沫感染：咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことにより感染すると考えられます。

②接触感染：ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることにより感染すると考えられます。

❖感染した場合：《学校保健安全法施行規則第19条における出席停止の期間の基準》

発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで。

※インフルエンザにおいて「発症」とは、一般的には「発熱」のことを指します。

※「発熱」がないにも関わらずインフルエンザと診断された場合は、インフルエンザにみられるような何らかの症状がみられた日を「発症」した日と考えて判断します。

※インフルエンザの出席停止期間の基準は、“発症した後5日を経過”と、“解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過”の両方の条件を満たす必要があります。

※日数の数え方は、発症した日を0日目とし、その翌日から1日目と数えます。

※学校以外においても感染症対策を実施する上で参考になるものです。

❖潜伏期間：約1～3日間です。

❖感染性のある期間：発症前日から出現し、発症後約5日目頃まで続きます。（解熱後約2日目頃まで続きます。）

※小児は発症後約7日目頃まで続きます。

❖症状：発熱（通常38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現れ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約1週間の経過で軽快します。

❖インフルエンザ療養期間（学校保健安全法施行規則第19条における出席停止の期間の基準を参照）

	発症日 (0日)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後1日目に 解熱した場合	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目					
	休み	休み	休み	休み	休み	休み	登校・ 出勤可能		
発症後2日目に 解熱した場合	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目				
	休み	休み	休み	休み	休み	休み	登校・ 出勤可能		
発症後3日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目			
	休み	休み	休み	休み	休み	休み	登校・ 出勤可能		
発症後4日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目		
	休み	休み	休み	休み	休み	休み	登校・ 出勤可能		
発症後5日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	
	休み	休み	休み	休み	休み	休み	休み	登校・ 出勤可能	

もうお済みですか？ワクチン接種

内科医師 高橋敏浩

今年もインフルエンザのシーズンが到来しました。今シーズンは流行が早くからみられ、川崎市では11月に流行発生警報が発令されました。インフルエンザの症状は発熱や咳、喉の痛み、全身の倦怠感などが主ですが、重症化すると肺炎や脳炎などの合併症を引き起こし、高齢者や基礎疾患を持つ人や小児などでは命に関わることもあります。そのため、インフルエンザの予防は非常に重要です。

インフルエンザワクチンは、インフルエンザの発症や重症化を予防するために開発されたワクチンです。ワクチンはインフルエンザウイルスの成分を体内に投与することで、免疫を獲得させます。接種後、体内に抗体が作られ、実際にウイルスに感染した際に速やかに身を守ってくれます。インフルエンザウイルスは毎年変異を繰り返すため、ワクチンも毎年その年に流行が予想される型に合わせて製造されます。そのため、毎年の接種が推奨されています。

インフルエンザワクチンの効果は、個人差や年齢、健康状態によって異なりますが、発症予防効果はおおよそ50～60%とされています。また、ワクチンを接種することで重症化や入院、死亡のリスクを大きく

減らせることが国内外の研究で示されています。特に高齢者や基礎疾患を持つ人にとっては、ワクチン接種が重症化予防の鍵となります。また、小児や妊婦も重症化リスクが高いため、積極的な接種が勧められています。

インフルエンザワクチンには副反応として、接種部位の腫れや痛み、発熱、倦怠感などがみられることがありますが、ほとんどは一時的で軽度です。重いアレルギー反応が起こることもあります。接種を受ける際は、体調が良いときに行い、過去のアレルギー歴などを医師に相談することが大切です。

また、インフルエンザワクチンは自分自身の感染予防だけでなく、家族や周囲の人への感染拡大を防ぐ社会的意義も持っています。特に医療従事者や介護従事者、学校や保育園など集団生活の場では、集団免疫の形成が感染拡大防止に有効です。接種率が高まることで、社会全体での感染拡大を抑えることができます。

このように、インフルエンザワクチンは個人の健康を守るだけでなく、社会全体の健康維持にも重要な役割を果たしています。毎年の流行前にワクチンを接種し、手洗いや咳エチケットといった基本的な感染症対策も併せて実践することで、インフルエンザの流行を最小限に抑えることが期待されます。まだ接種していないという方は早めの接種をおすすめいたします。



秋の味覚と健康 ～きのこ～



秋の味覚きのこ。低カロリーで食物繊維が豊富なだけでなく、健康に欠かせない「ビタミンD」を含んでいることをご存じですか？
秋から冬にかけて日照時間が短くなると体内で作られるビタミンが不足しやすくなります。



ビタミンDの働き

ビタミンDはカルシウムの吸収を助け、歯や骨を丈夫に保つ栄養素のため、骨粗しょう症予防に役立ちます。
また、免疫力を高め、風邪や感染症予防に関与していると言われています。



きのこの栄養素

きのこには「エルゴステロール」という成分が含まれており、日光に当たることによってビタミンDに変化します。
そのため「干しいたけ」や「天日したきのこ」はビタミンDがとても豊富です。



取り入れ方

- ・きのこ汁や炒めもの、炊き込みご飯などの毎日の食事
- ・冷凍しても栄養素はほとんど失われないので、買ったきのこは冷凍保存して使うと便利です。



個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。
総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

- 1 個人情報の収集・利用・提供**
個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。
- 2 個人情報の安全対策**
当院では個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。
- 3 個人情報に関する法令・規範の遵守**
当院では個人情報に関する日本の法令、国の定める指針その他の規範を遵守します。
- 4 教育および継続的改善**
個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則（主に運用ルール等）を継続的に見直し、改善します。
- 5 診療情報の提供・開示**
診療情報の提供・開示に関しては、別途、当院個人情報管理規定に定めます。

▶ 総合高津中央病院

川崎市高津区溝口 1-16-7 TEL (044) 822-6121 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp>



▶ 虹が丘リハビリケアセンター（介護老人保健施設）

川崎市麻生区王禅寺 963-11 TEL (044) 987-9853 (代)

▶ 高津中央クリニック（健診センター）

川崎市高津区溝口 1-16-3 TEL (044) 822-1278 (代)

▶ 高津看護専門学校

川崎市宮前区土橋 4-2-6 TEL (044) 855-9449